

2020(令和2)年度 事業報告書

【1】事業の状況

2020年度事業計画に基づき、各事業を以下のとおり実施した。

なお、新型コロナウイルス(Covid-19)感染拡大防止によるイベント自粛および海外演奏家の渡航制限等により、当財団の計画していた全ての事業活動について影響を受けた。オーケストラ助成事業は、助成継続したものの対象公演の企画変更、中止、延期などにより助成額が縮小され、研鑽支援事業の夏の音楽祭は開催中止、AESは公演中止となった。

1. 意欲的な音楽活動に対する助成

(1) 2020年度オーケストラ助成の実施(公演実施助成分)

国内プロオーケストラが行う意欲的な公演16企画に対し、総額12,000千円の助成を実施した。

【アフィニス エンブレム】(助成実績2企画5,000千円)

「音楽文化の担い手としてのプロオーケストラが主催する、わが国ならびに各楽団が活動の重点を置いている地域にとって意義がある企画」

【アフィニス エチケット】(助成実績14企画7,000千円)

「楽団としての成長、発展を目指して企画された意欲的な公演」

(2) 新型コロナウイルス対策等による中止、延期、企画変更、無観客演奏会への助成継続

新型コロナウイルス感染・拡大防止によるイベント自粛要請に伴い、中止、延期、企画変更、無観客演奏会の実施を余儀なくされたエンブレム・エチケット助成公演に対し、助成を継続する方針を決定し、運用を行なった。

2019年度から延期となり実施した企画 助成実績 1企画 500千円

2020年度に企画変更、中止等となった企画 助成実績 11企画 4,900千円

2021年度に延期予定となった企画 助成予定 4企画 7,000千円

(3) 2021年度オーケストラ助成対象企画の決定

国内プロオーケストラが行う意欲的な公演32企画に対し、総額40,000千円の助成を行う計画を決定した。

【アフィニス エンブレム】 10企画 29,000千円

【アフィニス エチケット】 22企画 11,000千円

(4) オーケストラに対する楽器購入助成

2020 年度実績なし。

2. 音楽家の研鑽に対する助成

(1) 「アフィニス夏の音楽祭 2020長岡（第 32 回）」の中止

音楽監督並びに海外演奏家の渡航規制・行動規制等を主な判断基準とした「アフィニス夏の音楽祭 2020 長岡の開催判断について」に基づき、アフィニス夏の音楽祭 2020 長岡を中止とした。その後、長岡実行委員会も交流プログラム等の中止を判断した。なお、長岡実行委員会主催の「アフィニスミニコンサート」が 8 月 23 日に開催された。

なお、世界的なコロナウイルス感染拡大を考慮し、海外と国内を結ぶオンラインセミナー及び長岡での演奏会を中心とした「アフィニス・セミナー&音楽会 2021Nagaoka」を企画中である。

(2) 「アフィニス・アンサンブル・セレクション (AES)」の実施

財団主催 AES 公演について、政府の緊急事態宣言、東京都の外出自粛要請などにより、1 公演を最終的に公演中止とした。

緊急事態宣言及び外出自粛要請などが解除されたことから、「夏の室内楽演奏会」企画を公募したところ、17 組の応募があり、「『AES 2020 年夏スペシャル・リレーコンサート～情熱は止まらない～』として企画したが、首都圏の感染者数が拡大したことから、全てを公演中止とした。

なお、2021 年度の AES 事業について、2019 年度に変更した主催事業型を一旦取りやめ、室内楽演奏会公演の助成を中心に実施することとした。

(3) プロオーケストラ所属楽団員に対する海外研修助成の実施

2019 年度研修員の日等貴士氏（シティ・フィル／ティンパニ）は、8 月に研修を修了し帰国した。

2020 年度研修員の本山耀佑氏（都響／コントラバス）は留学先を変更し、2021 年 4 月に渡独、研修を開始することを承認した。

なお、2021 年度海外研修事業について渡航規制や世界情勢を鑑み募集休止を決定した。

3. 芸術文化に関する調査研究

2020 年度実績なし。